

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援第2チャーム		
○保護者評価実施期間	R8年1月13日		～ R8年2月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R8年1月13日		～ R8年2月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数の受け入れで、個別の発達段階に沿った支援を行っている。	・職員を十分配置し、一人ひとりの特性に応じた療育を行い、成功体験を重ねていけるように支援している。	・上級生との集団活動にも参加し、社会性やコミュニケーションの向上を図っていく。
2	読み聞かせを行い、ルールやマナーを学習し、知識や興味を広がるような活動を取り入れている。	・紙芝居や絵本だけでなく、パネルシアター等の教材も積極的に取り入れるようにしている。	・図書館の利用や教材の種類を増やすと同時に、技術の向上に取り組んでいく。
3	いろいろな経験が出来るよう、課題や行事を取り入れている。	・季節ごとの製作や集会をはじめ、発達に合わせた個別課題やリトミックや運動遊び等の集団活動を通して成功体験を増やし、自己肯定感が持てるような支援に取り組んでいる。 ・長期休暇の時には見学活動や体験の機会を設けている。	・運動遊具や教材の充実や、研修に参加し、内容の充実に取り組む。 ・曜日に偏りがないように計画する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルは作成しているが、保護者への周知ができていない部分がある。	・マニュアルに沿った訓練は行っているが、周知が不十分だった。	・面談の時などを活用して、周知するようにしていく。
2	ペアレントトレーニングも含めて、家族も参加できる研修の機会が少ない。	・親子での行事は企画しているが、事業所独自の研修はできていない。 ・ペアレントトレーニングの研修に参加できていない。	・ペアレントトレーニングを行えるような研修に参加する。
3			